

## (平成20) 2008年度

# 第3回理事会

2008年6月19-20日  
日弁連17階会議室



理事会風景

が課題で越えるの意見がどのようになり越えるの

日弁連においては、総会に次いで権限を有するのが理事会である。各単位の会長等71名が理事となっており、毎月2日間にわたって多数の議案が熱心に審議されます。私が、山口県弁護士会の会長、日弁連理事を勤めた1984(昭和59)年度には月1日だったので、日弁連会務が如何に多様になったかが理解できるところです。

曹人口」問題です。この課題について、今回理事会に初めての提言案を提出しました。その要旨は、後記の枠内に示したとおりです。この提案について、理事のなかからは、これ以上の弁護士増は高収入と低収入の二極化により食えない弁護士が出て人権擁護という基本課題が遂行出来なくなるという不安が提起されました。また、法曹の質ということにも、これをどのように捉えるのか大きな問題があるとの指摘がなされました。

を豊かにしたいと執行部の考えが明らかにされました。また、法科大学院の問題についても論議が沸騰しました。法科大学院の側からの法曹人口減に対する意見がどのようになり越えるの

今後のスケジュールについては、司法試験委員会が合格者を決定する前である7月理事会で結論を出し、その後各界の意見を求めて提言の内容を豊かにしたいと執行部の考えが明らかにされました。また、法科大学院の問題についても論議が沸騰しました。法科大学院の側からの法曹人口減に対する意見がどのようになり越えるの

鳥根の水野理事からは、弁護士過疎地の問題について詳しく述べた。広島の前理事は、第1日目の理事会で、法科大学院について発言があり、大学院関係者としては法曹人口減について深刻に受け止めていると発言がありました。岡山の秋山理事も大学院における教育内容についての発言を

九州の理事から、法的ニーズと法曹人口問題は、国民の目線から議論すべきであり、国民は弁護士の味方ではないという意見がありました。弁護士法人も過疎対策として活用できているという実態があり、その場合その地域住民の視点に立って考えるべきである。鳥取の大田原理事の発言は、48期以降の若手はこれ以上の増員に反対だといわれども、この人たちは仕事を探す真の努力をしていないのではないかと、市民のニーズはあのに、努力しない人のことを考えると、この提言は手ぬるい、昨年程度に止めると、その数値を明らかにすべきというものでした。

### コーヒータイム 秋葉原と下関駅

皆さん、この二つの地名の関係を直観されたと思います。今年6月8日発生の秋葉原通り魔事件と1997年9月27日発生の下関駅無差別殺傷事件、両事件とも仕事が終わるおそれから自暴自棄となって社会を逆恨みし、自動車と刃物で無差別に殺傷するという点で酷似しているからです、折しも、6月13日午後午後1時30分最高裁第2小法廷で下関駅事件で1,2審死刑判決を受けている上部被告の弁論手続きが開かれることになっており、被害者や遺族の皆さんが特別傍聴で上京され、弁護団団長の私も正副会長会を抜けて同行する予定になっていました。秋葉原の事件が下関事件の再現だということは、日経新聞が社説で取り上げていました。そのため、マスコミからの取材が引きも切らない状態でした。そこで、最高裁の裁判後東京地裁の司法記者クラブで共同記者会見しましたが、40人もの記者と10台のテレビカメラが入り、騒然とした状況でした。この場所で、私は、日弁連副会長として現在担当している「労働と貧困」問題で、働けども将来に希望を見出せないワーキングプアと言われる人たちの絶望感が社会への反撃として両事件が発生したという社会的背景があり、この点こそが解明される必要があると訴えました。

### ◆提言の趣旨

本年度(2008年度)司法試験(新・旧)の合否判定にあたっては、新しい法曹養成制度が未だ成熟途上にあることに鑑み、合格判定について、「2010年頃に合格者3000人程度」との数値目標にとらわれることなく、法曹の質の確保に十分配慮して、判定されるべきである。

## 日弁連会務遂行状況

- 6 /3 午後 上京
- 4 12:15 国際司法整備支援
- 14:00 国際人権第1回全体会議
- 5 9:30 国会対応戦略会議
- 10:30 正副会長会
- 6 10:00 登庁 国際司法支援諮問検討
- 11:00 検察官適格審査会 法務省説明
- 9 11:00 **人権大会第3シンポ実行委員会**
- 17:30 自由権WG
- 11 14:30 UPR審査の意見書
- 15:00 国際司法支援検討会議
- 15:30 検察適格審査会
- 12 10:00 国会対応戦略会議
- 10:30 正副会長会
- 19:00 法曹記者クラブ懇談会
- 13 10:00 歴代会長会(日比谷 松本楼)
- 13:30 正副会長会
- 13:30 下関事件最高裁第2小法廷 弁論
- 15:00 司法記者クラブ記者会見
- 14 午後 帰関
- 16 午後 上京
- 15:00 国際活動協議会
- 17 10:00 登庁国際司法支援検討
- 18 10:30 正副会長会
- 19 10:15 常務理事会
- 10:45 理事会
- 18:00 **平山・明賀両先生感謝慰労会**
- 20 10:15 理事会
- 13:00 生活保護対策問題委員会
- 21 午後 帰関
- 23 午後 上京
- 24 13:00 ドイツ連邦弁護士連合会 調印式
- 14:00 講演会(ドイツ参審制度)
- 15:45 意見交換会と歓迎夕食会
- 25 14:00 JICAと日弁連の国際支援協定調印
- 15:00 法整備支援対策会議
- 26 10:30 正副会長会
- 15:00 各種委員長会議
- 17:00 懇親会
- 27 10:30 正副会長会
- 18:00 **国際人権法WG**
- 28 9:00 正副会長会
- 夕刻 帰関

6月30日間 3往復 2泊



調印式立会

た。事とは思えませんでした。

はるばるドイツから15万人の弁護士を代表してドイツ連邦弁護士連合会の会長以下5名の代表団が来日され、6月24日午後、日弁連と友好協定を締結調印式がありました。私は、国際担当副会長の立場

で、両会長調印に立ち会いました。この日は、代表団がドイツ参審制の経験について講演をされ、その後意見交換会があり、夕方からは歓迎夕食会が皇居の堀の見える日本料理店でありました。その際の歓迎挨拶別記のとおりです。この交流で、8500万人のドイツでは毎年1万人の司法試験合格者があり、15万人もの弁護士がいて豊かな弁護士と会費も払えず脱落したり、食べるためタクシー運転手をするものもいるということでした。日弁連にとっても、法曹人口問題という切迫した課題に直面しているだけに他人事とは思えませんでした。

## ドイツ連邦弁護士会と日弁連の友好協定締結

### ドイツ連邦弁護士連合会歓迎夕食会 歓迎の挨拶

Guten Abend(こんばんは)、本日は、はるばるドイツの地から当日本弁護士連合会に友好協定調印のため訪問して下さいました連邦弁護士連合会の先生方に心から歓迎と感謝の意を表します。

ドイツの法律制度は、日本が明治維新以来近代法律制度を確立するに当たり模範として多くのものを学んでおります。そして、先の大戦におきまして両国は、加害と被害という大きな痛苦を体験しました。それを乗り越えて、両国の国民は国際社会において名誉ある役割を果たすべく努力を続けております。日本国民は、平和と民主主義を基調とする日本国憲法を制定し、当日本弁護士連合会は、その理念を実現すべく会員一同力を合わせているところであります。その活動のなかで、最近の大きな課題として、発展途上国に対する法整備支援を内容とする国際司法支援をどのように進めるかということがあります。本日は、同様の問題を持たれるドイツ連邦弁護士連合会の先生方と実りある意見交換の機会を持つことができましたのは、大変有意義でありました。また、参審員裁判について講演を頂き会場とネットを通じて全国で800名もの人が聞くことが出来たのは大きな成果でした。このような熱心な活動をして頂きお疲れさまでした。このご労苦を頂きお疲れのみなさまを慰労するためこの歓迎夕食会を持ちました。本日は、2005年プラハで開かれたIBA総会の際にドイツ連邦弁護士連合会と交流会の機会を得て歓迎夕食会を持って頂いた際出席しました高木佳子元副会長方も出席しております。どうか、ゆっくりとご歓談下さるようお願いし、私の挨拶とさせていただきます。ダンケシエーン(有難うございました。)

## 国連人権理事会UPR

(普遍定期審査)

国連人権理事会というのは、安保理事会、経済理事会と並ぶ3本柱の一つである。日本は、3年前に理事国になり、任期は2年だが、今年2期目の理事に立候補し、再選された。今年UPR(普遍定期審査)の年で、5月にジュネーブでの理事会作業部会で定期審査が行われ、26項目の勧告を受けていたが、6月13日対応を明らかにした。13項目を受け入れ、4項目を前向きに検討し、9項目について拒否した。このUPRに当たって日弁連は国内最大のNGO団体として、国連で活発なロビー活動を他のNGOの先頭で頑張り歴史的な成果をあげた。国際人権問題の委員たちは、国内の委員と連携をとって会長談話や意見書を発表し大きな力を発揮した。今回の成果で、とりわけ大きな成果は個人通報制度の導入に道が開けたことである。一方、代用監獄や取調の可視化等は受け入れを拒否していることから、日弁連は引き続き日本の人権状況の改善に努めるとのコメントと発表した。この件は、理事会にも映像つきで報告された。